



第 21 号



岩江中だより

発行日：令和5年 3月16日
文責：三春町立岩江中学校長
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
Email：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営のテーマ 『変えてはならないものを守るために、変えるべきものを変え続ける』

令和4年度 岩江中学校「卒業証書授与式」

24名の卒業生が義務教育の課程を修了し、母校を巣立ちました。4年ぶりに地域の皆さん（学校運営協議会委員）も来賓としてお招きし、卒業生の門出をお祝いすることができました。これまでの卒業生の努力を称え、輝く未来に期待を寄せる大切な節目の場を、多くの皆さんと共有でき、同時に戻りつつある学校の日常も、希望とともに実感することができました。1・2年生の式歌もとても素晴らしく、卒業に花を添えることができました。

コロナとともに始まった苦難の中学校生活を感じさせない、明るく前向きな卒業生の姿が印象に残ります。一人ひとりが選んで進むそれぞれのステージでも、頑張れ3年生！！

【卒業証書授与式】 3月13日（月）



卒業証書授与式 校長式辞 ※部分抜粋

卒業証書を受け取った卒業生のみなさん、卒業おめでとう。和紙で作られ校章の透かしが入った伝統ある岩江中学校の卒業証書は、三年間の努力の証であると同時に、これまで皆さんに力を与えてくれた全ての方々の思いが込められた、とても重みのある証書です。新型コロナウイルスに翻弄され、見えないものと闘い続けた皆さんの三年間は、見えないものに支えられた三年間でもありました。支え続けた先生方、ご家族、地域の皆さん、互いに支え合ってきたクラスメイトへの感謝の気持ちを、今ここで新たにしてください。

（中略）

四月から、自ら選んだ、それぞれの道を歩むみなさんに、最後のはなむけの言葉を三つ贈ります。一つ目は、「目標をもつ」ということです。夢へと続く長い道のりも、最初の一步から始まります。そして、そこには、小さな目標を一つずつクリアしていくことでしか、たどり着くことはできません。少し頑張れば手が届きそうな、自分で成果を実感できそうな目標を定め、未来に向けて小さくても確かな一步を踏み出してください。

二つ目は、「挑み続ける」ということです。才能の差は小さくても、努力の差は大きく、努力を継続して積み重ねることの差は、もっと大きくなるものです。目先の結果や失敗のリスクに臆することなく、挑み続けること自体の価値を胸に刻み、前向きに力強く前進してください。

三つ目は、「支え合う」ということです。私たちは、当たり前の日常が一変してしまうという現実にも何度も直面してきました。苦しみの中で助け合って出す答えは、生きていくうえで大きな・大きな力になります。人の心を支えられるのは、人の心しかありません。互いに寄り添い、支え合う心を忘れず、家族や友人、地域の人々と共に歩んでください。

岩江中学校で追い求めた「自立」の力を胸に、みなさんが進むべき新しい道を、時にはひるむことなく全力で、時には肩の力を抜いてゆっくりと、自分のペースで切り開いてください。

（中略）

結びに、卒業生が築き上げてきた伝統を、さらに発展させられるよう、在校生、教職員一同、全力で取り組んでいくことをお誓いするとともに、校歌の結びに輝く「我らの誇り岩江中学校」を卒業する二十四名の、大いなる活躍を心より祈念し式辞といたします。